

【東京大学HP『活動体験』より、プログラム抜粋】

【活動の区分欄】(1):ボランティアなどの社会貢献活動、(2):国際交流体験活動、(3):インターンシップなどの就労体験活動、(4):農林水産業・自然体験、地域体験活動、(5):フィールドワーク体験活動

	団体名等	活動の区分	プログラム名称	応募方法等			活動期間	主な活動場所	募集人数	目的	具体的な内容	備考	WEBSITE	参加するための費用(概算)	奨励金
				応募締切	選考方法	参加資格									
1	大学院農学生命科学研究科 附属演習林 生態水文学研究所	(5)	森林・水・土砂の長期モニタリング調査体験	2015/6/18 (木) 正午	書類審査	学部学生	2015/7/20(月) -7/24(金)	大学院農学生命科学研究科 附属演習林 生態水文学研究所 赤津研究林	3	生態水文学研究所の研究林で、80年以上の長期間続けている森林・水・土砂の長期モニタリングを体験する。	※以下は一例であり、天候等の都合により順番が変わる可能性があります。 2015年7月20日(月・祝) 13:00 名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅集合、赤津宿泊施設へ移動、全体ガイダンス、赤津研究林についての概要説明、赤津研究林の見学。 2015年7月21日(火) 環境省の全国規模の生態系モニタリング調査プログラムである「モニタリング1000」の作業の体験。 2015年7月22日(水) 90年前から続けられている気象水文観測機器メンテナンスとデータの吸い上げ作業の体験。 2015年7月23日(木) 80年以上続けられている森林流域から流出する土砂量の測定とダムにたまった土砂を下流に排出する作業、通称「砂出し」作業の体験。 2015年7月24日(金) 90年以上の間、蓄積されてきたデータから、研究に使うための情報を得るために、過去の記録紙上に記録された雨量や河川の水位のデータを読み取る作業の体験。 ・安全管理上、野外作業中はヘルメット(貸与)、長袖、長ズボン着用。必要に応じて長靴(貸与)。 ・宿泊施設にあるもの:風呂、シャワー、せつけん、冷蔵庫、キッチン、洗濯機、乾燥機、シーツ、シャンプー、ドライヤー、飲用可能な水道水、WIFI ・宿泊施設にないもの:タオル、寝間着、歯ブラシ、リンス ・宿泊施設周辺には徒歩圏内に売店や自動販売機はありません。 ・食事は自炊となります。スーパーへの食材買い出しの際には送迎の車が出ます。	生態水文学研究所: http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/eri/ 平成25年度にマレーシアサバハ大学の学生2名がほぼ同じプログラムを体験した様子: http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/eri/2013/tansu.html	交通費 21,520 円 宿泊費 200 円 計 21,720 円 ※交通費は東京駅から名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅まで、新幹線自由席利用で計算。夜行バス・昼行バス・普通列車を利用すれば、より安くすることも可能。最も安いのは青春18きっぷ利用。 ※宿泊費は何泊しても同じ料金(シーツ洗濯代として徴収)。 ※滞在中の食費は自己負担(自炊可)。	18,900	